

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山
全体計画	令和 3年度	～	令和 7年度	経費区分	実施計画事業費		内線	3312			
事務事業名	12333 福祉会館整備事業										
所 属	100100 健康福祉部・福祉課										
施 策	11020500 障がい者福祉の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030105 民生費・社会福祉費・福祉会館費									
	事業	020000 福祉会館整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
障がい者福祉の増進と自立の促進を図るために設置定した施設の維持管理と適切な管理運営を行うことにより、障がい者福祉の向上を図る。						福祉会館のエレベータは現在既存不適格の状態のため、解消工事を行う。 1. 戸開走行保護装置の設置 2. 初期微動完治地震時管制運転装置および予備電源装置の設置 3. 耐震補強工事					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
施設改修工事 59,996千円	エレベーター改修工事 8,120千円
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		60,142	8,120
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	56,100	8,100
	その他	0	0
一般財源		4,042	20
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	696.8	1,393.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	696.8	1,393.6
市民一人当たりの経費		1.2	0.2
総額		60,838.8	9,513.6

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	59,547	福祉会館改修工事
18節 負担金補助及び交付金	596	水道負担金
その他	△1	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	8,120	福社会館エレベーター改修工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	福社会館エレベーターを、建設基準法に適合するするため、整備が必要である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	福社会館エレベーターが建設基準法に適合し、災害時の安全が確保される。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	特に変更はない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

老朽化にり計画的な修繕が必要である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

総合評価コメント

2021年度整備事業の適正な実施のため十分な準備を行い、実行する。

2次評価コメント

施設の老朽化のため利用者にとって利用しやすい改修を行う

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--